

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 公益法人会計基準

当事業年度から「公益法人会計基準」（平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会）を適用しています。なお、前事業年度の財務諸表は改正前の「公益法人会計基準」に基づいて作成しております。

(2) 決算期について

当財団は、平成21年5月1日に公益財団法人へ移行し、移行前後で事業年度を区分するため、当事業年度は平成21年4月30日を決算日としました。これに伴い、当事業年度は、平成21年4月1日から平成21年4月30日までの1ヶ月間となっております。

(3) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の有価証券は個別法による償却原価法（定額法）を採用しています。その他有価証券は決算日の市場価格等に基づく時価法を採用しています。

(4) 固定資産の減価償却の方法

定額法により減価償却を実施し、直接法で表示しています。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税については、税込み方式によっています。

2. 表示方法の変更

（貸借対照表関係）

従来「未払金」に含めて表示しておりました人材派遣委託費の未払額をより適正に示すため、当期より「未払費用」として表示しております。なお、前期の「未払金」に含まれる「未払費用」は645,343円であります。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。 （単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	18,500,000,000	1,000,000,000	△ 1,000,000,000	18,500,000,000
普通預金	63,500,000	1,063,500,000	△ 1,063,500,000	63,500,000
小計	18,563,500,000	2,063,500,000	△ 2,063,500,000	18,563,500,000
特定資産				
投資有価証券	2,034,800,000	5,250,000	0	2,040,050,000
小計	2,034,800,000	5,250,000	0	2,040,050,000
合計	20,598,300,000	2,068,750,000	△ 2,063,500,000	20,603,550,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。 （単位：円）

科目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）
基本財産			
投資有価証券	18,500,000,000	(18,500,000,000)	(0)
普通預金	63,500,000	(63,500,000)	(0)
小計	18,563,500,000	(18,563,500,000)	(0)
特定資産			
投資有価証券	2,040,050,000	(0)	(2,040,050,000)
小計	2,040,050,000	(0)	(2,040,050,000)
合計	20,603,550,000	(18,563,500,000)	(2,040,050,000)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりです。 (単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	9,071,102	9,071,102	0
什器備品	4,730,991	4,317,316	413,675
合 計	13,802,093	13,388,418	413,675

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりです。 (単位：円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産・その他固定資産			
社債：三井住友銀行劣後債4件	18,500,000,000	17,610,227,277	[+ 34,872,375 △924,645,098
住友信託銀行劣後債3件			
住友生命劣後債流動化特定目的会社債			
信金中金債権流動化株式会社債			
関西アーバン銀行劣後債			
みずほ銀行劣後債2件			
大和証券SMBCマルチコーラブル債			
三菱東京UFJ銀行劣後債			
みずほコーポレート銀行劣後債			
UFJファイナンス劣後債 ¹⁾ 「ケージ」ユーロ円債			
特定資産・その他固定資産	2,000,077,302	1,877,671,723	[+ 111,914,779 △234,320,358
社債：東京急行電鉄社債			
GMACリパッケージ債2件			
三菱東京UFJ銀行劣後債			
合 計	20,500,077,302	19,487,899,000	[+ 146,787,154 △1,158,965,456

(注1) 時価は取扱証券会社から提供された時価情報で算定しています。

(注2) 帳簿価額は、その他固定資産に計上したオーバーパー購入部分の償却原価を含んでいます。

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、以下のとおりです。 (単位：円)

内 訳	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益	36,913,522
合 計	36,913,522

8. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 資金の範囲

資金の範囲は、現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない短期投資）です。

現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下の通りです。

(単位：円)

	当期末	前期末
現金預金	102,092,814	168,708,605
有価証券	0	0
現金及び現金同等物	102,092,814	168,708,605

なお、基本財産普通預金を保有していますが、原則として処分不可能なものであるため、資金の範囲には含めておりません。

(2) 重要な非資金取引

期中に、発行者が期限前償還の権利を行使した基本財産投資有価証券1,000,000,000円の償還金を基本財産普通預金で受取り、それを原資として、基本財産投資有価証券1,000,000,000円を取得しました。